

高畠町公式マスコットキャラクター



たかっき

はたっき

平成29年度 第2回高畠町景況調査結果 (平成29年12月実施)

平成30年2月
高畠町商工観光課

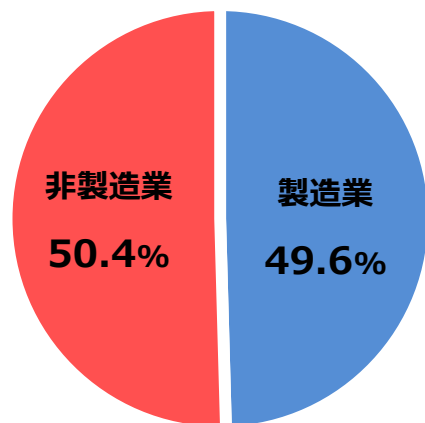


1. 調査概要及び回収結果

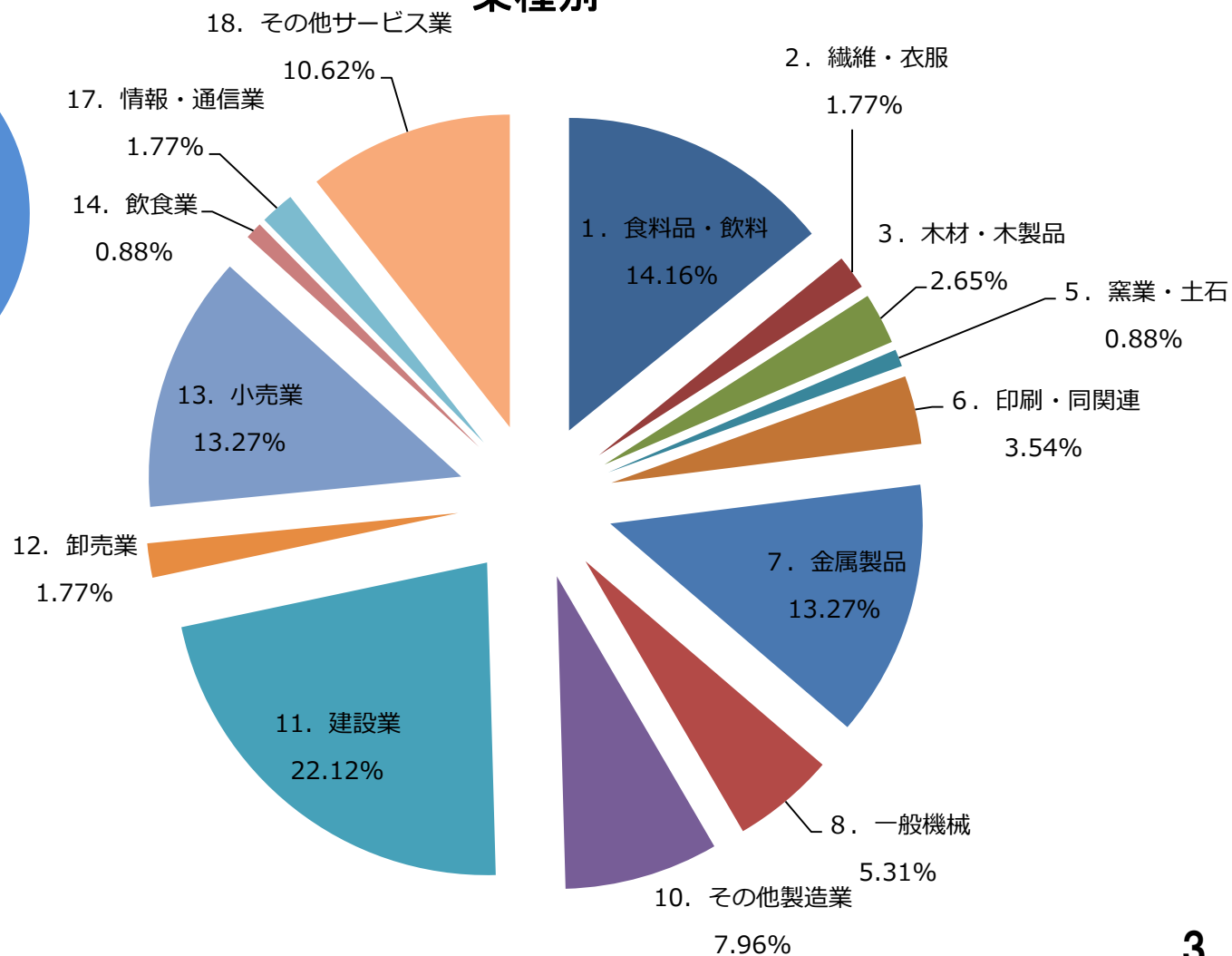
1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、政府による経済政策に対する景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計 (1)標 本 数:町内事業所(個人事業主も含む)178事業所
(2)調査方法:調査票の配布(郵送法)、回収(FAX及び持参)
(3)調査期間:平成29年12月19日～平成30年1月31日
(4)基 準 日:平成29年12月1日
4. 回収結果 113事業所(回収率63.4%) ※ 前回:67.2%
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用
実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。
本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

<回答事業所内訳>

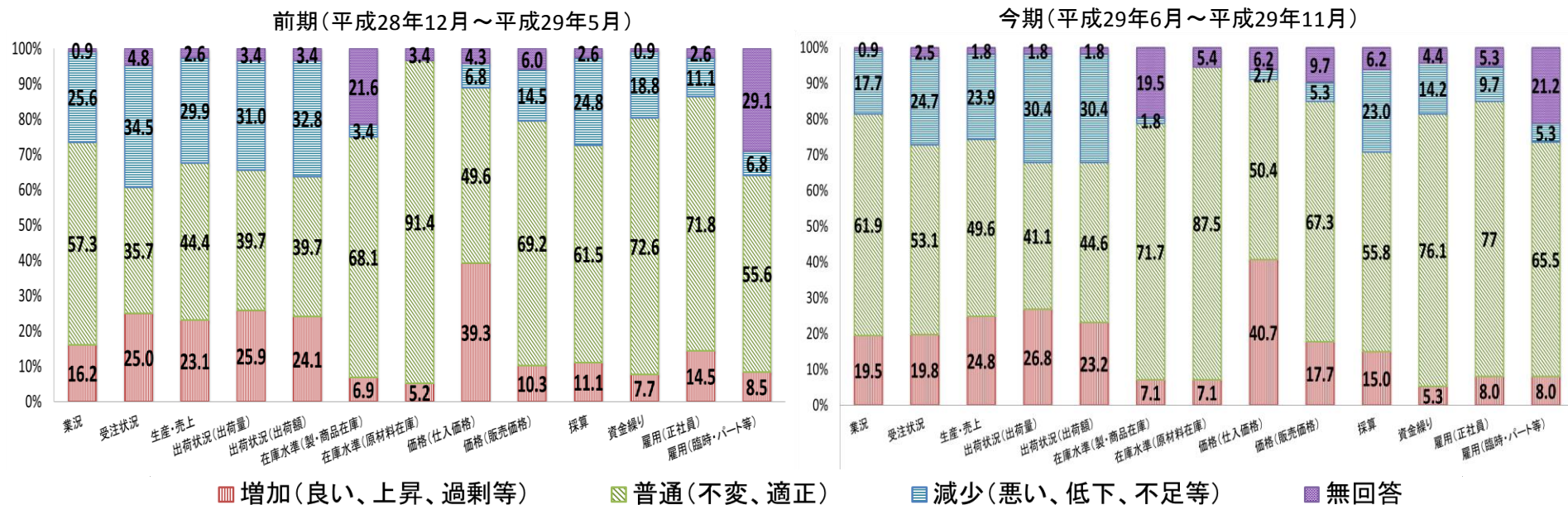
製造業・非製造業別



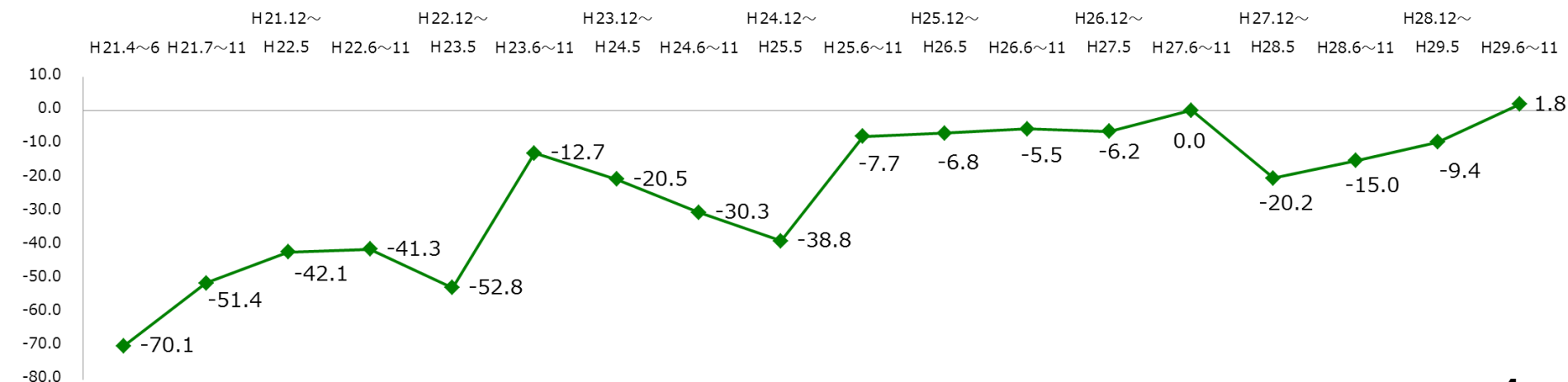
業種別



2. 各設問のデータ比較



調査開始からの業況D.I.の推移



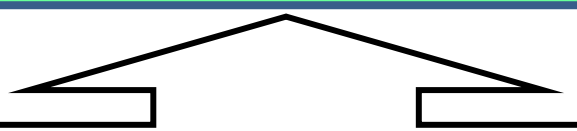
3. D.I.から見た景気予測

※DI(ディフュージョン・インデックス)・・・「増加(良い・上昇・過剰等)」ー「減少(悪い・低下・不足等)」の値

																			今回調査	
No.	調査項目	H21 4月～6月	H21 7月～11月	H21.12～ H22.5月	H22 6月～12月	H22.12～ H23.5月期	H23.6～ 11月期	H23.12～ H24.5月期	H24.6～ 11月期	H24.12～ H25.5月期	H25.6～ 11月期	H25.12～ H26.5月期	H26.6～ 26.11月期	H26.12～ H27.5月期	H27.6～ 27.11月期	H27.12～ H28.5月期	H28.6～ 28.11月期	H28.12～ H29.5月期	H29.6～ 29.11月期 実績	H29.12～ H30.5月期 予想
1	業況 「良い」－「悪い」の指数	▲ 70.1	▲ 51.4	▲ 42.1	▲ 41.3	▲ 52.8	▲ 12.7	▲ 20.5	▲ 30.3	▲ 38.8	▲ 7.7	▲ 6.8	▲ 5.5	▲ 6.2	0.0	▲ 20.2	▲ 15.0	▲ 9.4	▲ 1.8	▲ 12.4
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」－「減少」の指数	▲ 80.3	▲ 50.1	▲ 43.1	▲ 26.1	▲ 23.6	▲ 4.4	▲ 13.8	▲ 27.1	▲ 34.7	8.0	12.8	2.4	▲ 1.2	10.1	▲ 18.2	▲ 14.8	▲ 9.5	▲ 4.9	▲ 9.9
3	生産・売上 「増加」－「減少」の指数	▲ 70.1	▲ 48.6	▲ 31.9	▲ 14.3	▲ 40.3	▲ 3.2	▲ 8.2	▲ 25.0	▲ 33.7	2.9	1.9	0.0	▲ 6.2	▲ 4.6	▲ 21.0	▲ 19.5	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 13.3
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」－「減少」の指数	▲ 70.3	▲ 47.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 24.4	9.4	▲ 17.5	▲ 43.9	▲ 35.6	3.5	11.5	14.0	▲ 5.7	▲ 2.0	▲ 21.7	▲ 14.5	▲ 5.2	▲ 3.6	▲ 10.7
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」－「減少」の指数	▲ 67.6	▲ 50.0	▲ 33.4	▲ 10.0	▲ 29.8	3.1	▲ 32.5	▲ 46.3	▲ 40.7	0.0	9.6	10.5	0.0	▲ 2.0	▲ 15.0	▲ 9.1	▲ 8.6	▲ 7.1	▲ 10.7
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」－「不足」の指数	▲ 5.2	2.7	2.9	6.3	8.3	3.2	9.6	7.9	9.2	7.7	3.9	▲ 0.9	4.4	4.6	5.7	1.8	3.4	5.3	4.4
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」－「不足」の指数	16.2	11.8	0.0	10.0	5.4	9.4	2.5	12.2	6.8	14.0	3.8	7.0	0.0	3.9	3.3	9.1	5.2	7.1	8.9
6	価格【仕入価格】 「上昇」－「低下」の指数	▲ 3.9	2.8	18.8	27.0	32.0	34.9	32.9	32.9	50.0	45.2	59.2	49.1	48.7	28.7	25.0	33.6	32.5	38.1	37.2
	価格【販売価格】 「上昇」－「低下」の指数	▲ 51.9	▲ 52.8	▲ 40.6	▲ 30.1	▲ 26.4	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 21.1	▲ 23.5	▲ 7.7	8.7	1.8	4.4	▲ 0.9	▲ 4.8	▲ 3.5	▲ 4.3	12.4	8.8
7	採算 「好転」－「悪化」の指数	▲ 70.1	▲ 55.5	▲ 39.1	▲ 27.0	▲ 54.1	▲ 25.4	▲ 24.7	▲ 27.6	▲ 35.7	▲ 8.7	▲ 20.4	▲ 9.1	▲ 9.7	▲ 8.3	▲ 16.1	▲ 20.4	▲ 13.7	▲ 8.0	▲ 16.8
8	資金繰り 「好転」－「悪化」の指数	▲ 50.6	▲ 40.3	▲ 23.2	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 20.5	▲ 22.4	▲ 31.6	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 5.5	0.0	▲ 7.4	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 10.6
9	雇用【正社員】 「増加」－「減少」の指数	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 10.3	▲ 9.6	1.4	▲ 11.1	12.3	▲ 2.6	▲ 5.1	1.0	▲ 7.8	▲ 3.6	0.0	▲ 5.6	4.0	▲ 8.0	3.4	▲ 1.8	13.3
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」－「減少」の指数	▲ 15.6	1.4	▲ 5.8	7.9	▲ 5.5	0.0	16.4	1.3	▲ 1.0	1.9	1.9	0.0	3.5	1.9	0.8	▲ 2.7	1.7	2.7	5.3

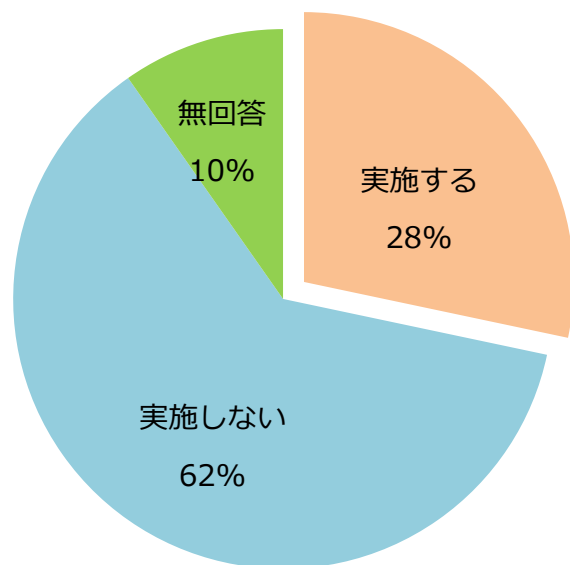
4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、先行きは慎重な見方が残るものの、回復傾向が続いている。

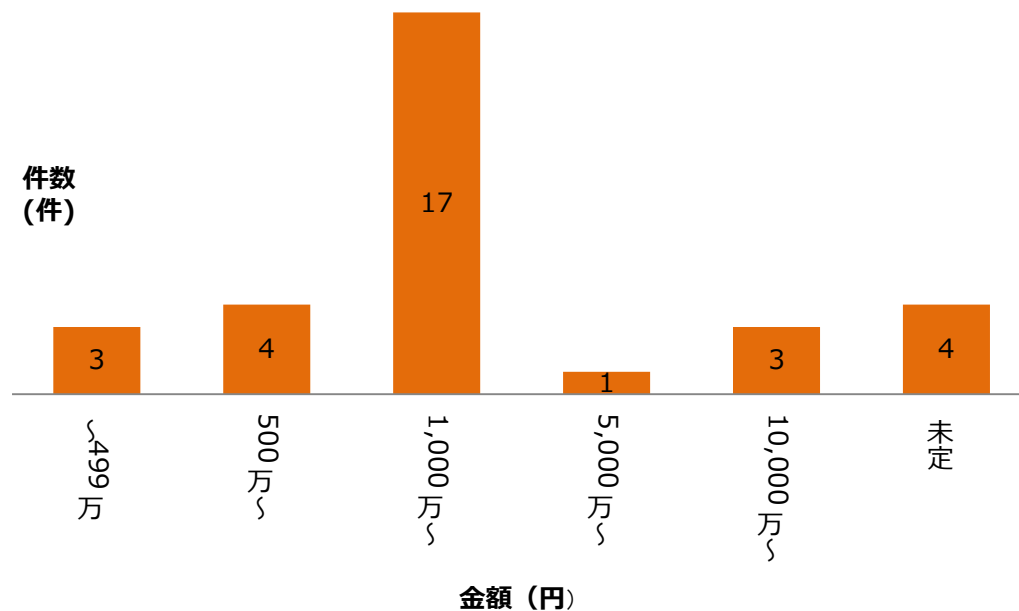
- 
- (1) 業況D.IIについて、前期(▲9.4)から今期(1.8)と11.2ポイント上昇し、調査開始以来初めてプラスとなり、採算(今期▲8.0)・資金繰り(今期▲8.8)とともに、前期と比べて値が上昇した、また、生産・売上(今期0.9)については7期ぶりにプラスとなり、販売価格(今期12.4)も大幅に値が伸び、5期ぶりにプラスとなった。
 - (2) 雇用D.IIについて、今期は正社員(前期3.4から今期▲1.8)は減少したが、臨時・パート社員等(前期1.7から今期2.7)は上昇した。来期はどちらの項目も上昇の予想であり、特に正社員について、大幅な改善(来期13.3)が見込まれている。

5. 設備投資について(平成30年度計画)

設備投資を実施するかどうか



実施予定規模



設備投資予定の種類

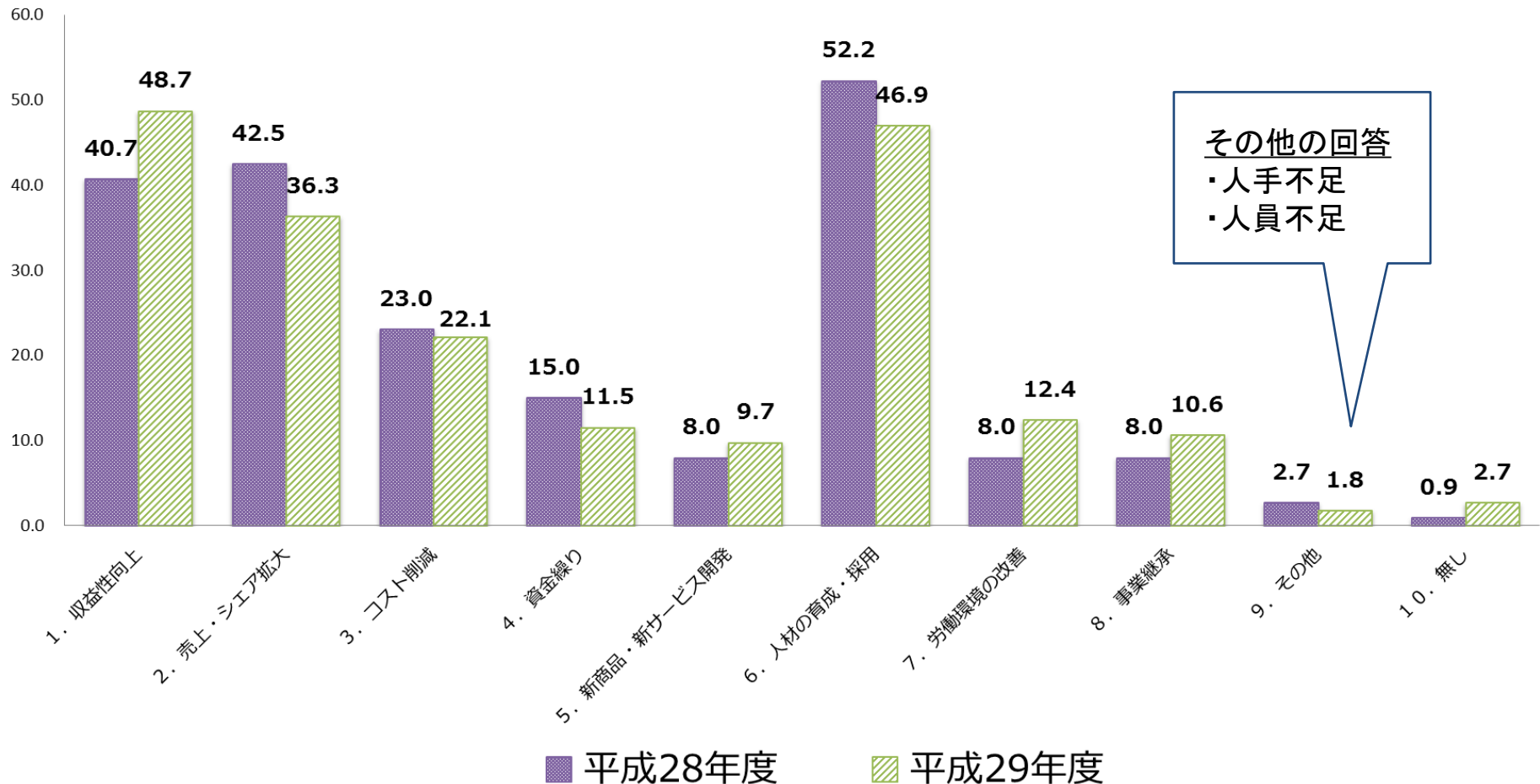
種類	件数 (件)
機械	19
建物	1
機械・建物	2
機械・その他	5
その他	4
未定	1

設備投資を考えている企業割合は全体の28%と、前回同項目を調査した際（平成28年度第2回）よりも7%上昇した。

機械設備の導入を検討している企業が多い様子である。

6. 現在の経営上の課題 (あてはまるもの3つまで選択して回答)

(%)



現在の経営上の課題について、第1位は収益性向上(48.7%)となり、2位は人材の雇用・育成(46.9%)、3位は売上・シェア拡大(36.3%)となった。

6. 現在の経営上の課題（課題への対策として行っている取組み）

収益性向上、売上シェア拡大

顧客先の新規開発品に積極的に参加することによる受注拡大
 配置人員の見直し、自動化による人件費・生産性の向上
 製造経費削減
 得意先の開拓（社内への取込み）
 生産性向上、新製品開発、外部研修への参加
 県企業振興公社の無料コンサルアドバイザーからの指導
 宣伝の強化（TV、新聞）
 展示会への出展
 営業力の強化
 マッチング事業への参加
 業務内容の改善
 売上構成比、チャンネル別売上バランス
 営業人員の増員
 新規顧客の開拓
 生産性向上改善活動、新製品開発
 無駄の発生を抑える（コスト削減とは別）ための支出の管理、把握に気をつけている
 商品の説明と浸透
 収益向上委員会設置、外部研修への参加
 作業の効率化
 経営計画（指針書）作成と、人材育成をふくめての社内会議
 個人目標の計画実行、会社の10年、3年ビジョン作り
 利益率の向上の為の品揃え

人材の育成・採用、労働環境の改善

大学生・高校生のインターンシップ受入れ（2件）
 安定所への募集広告（2件）
 中途採用活動（2件）
 高校・大学への訪問
 残業時間の短縮
 管理者育成
 多能工の推進
 パート化
 人材の育成
 社員教育の実施
 勉強会を開催している
 若年層へのOJTの実施
 有給を全員がとれるように順番で休みをとっている

他、コメント

特になし（3件）
 ほぼ完了
 現状維持
 求人しても申込がなく現状維持
 今後、従業員アルバイトの募集をしたいと思う

コスト削減（省力化、省人化）、資金繰り

設備導入による省人化
 製造経費削減
 経費の見直し
 無駄の削減（2件）

7. 事業所・業界の動向、要望事項

No.	良い
1	今期は自店70周年で売上増加とはなったが来期は、もう一頑張りというところです。

No.	悪い
1	まだまだデフレは脱却せず、さらに安売り続く！！

No.	その他
1	市場環境は悪くありません。
2	人材を雇用したいが、余裕がないです。
3	平成30年4月からの介護報酬改定は、わずかにプラスとなったが介護保険制度改正は色々変わりそうで、どうなるか分からない。
4	先の月のことは予定がつかず毎月を過ごしているので来期の記入に困った。今後もそうなる。

No.	要望事項等
1	3月～8月が、9月～2月と比べて忙しく8月のお盆を境に人手(臨時パートさん)の必要度も大きく変わる。この期間の区切りだと記入しにくい。